

特別委員会の活動紹介

熊本市議会の委員会には、条例により常設されている常任委員会のほかに、議会の議事運営について協議する議会運営委員会、必要な場合に議会の議決により設置される特別委員会があります。

今回は、現在設置されている5つの特別委員会の活動内容についてご紹介します。

●総合的なまちづくり対策に関する特別委員会

- ①定数：12 ②設置年月日：平成23年5月23日
- ③設置目的：安全で安心な市民生活を実現するための諸問題と災害に強いまちづくりや危機管理対策の強化に関する調査を行うこと。
- ④活動の内容
「防災・危機管理対策」と「市民生活の安心安全対策」の大きく2つのテーマを掲げています。
特に、昨年の東日本大震災を教訓とした本市の災害対策強化は喫緊の課題であることから優先して調査を行うこととし、「災害予防対策」「災害発生時の応急対策」「災害発生後の復旧復興対策」と段階的に分類し、ソフト・ハードの両面から課題を検証しているところであります。
また、今後は「市民生活の安心安全対策」につきましても、「防犯対策」「交通安全対策」「食・地下水の安心安全対策」の3つの観点から調査を行ってまいります。

●中心市街地の活性化に関する特別委員会

- ①定数：12 ②設置年月日：平成23年5月23日
- ③設置目的：中心市街地活性化及びこれに関する事業の諸問題と対策に関する調査を行うこと。
- ④活動の内容
「中心市街地のにぎわい創出と回遊性の向上について」を委員会調査のテーマとして活動を行っています。
前期の同特別委員会においては、これまでに熊本駅周辺のまちづくりや熊本城桜の馬場城彩苑の整備などについて調査を行ってきました。
本市が取り組む中心市街地の活性化策の中でも、新たなコンベンション施設の整備や旧産業文化会館を含む「桜町・花畑地区再開発事業」については、熊本城と両地区をつなぐシンボルプロムナードの歩行者空間化と合わせ、本市のまちづくりの将来を担う重要事業と位置づけられています。
本特別委員会では、喫緊の課題として両地区における機能集積による一体的な整備の重要性から、事業の進捗状況と内容の検証、さらに中心市街地への回遊性向上など、中心市街地のさらなる魅力向上に向けた活性化策について議論を展開しています。

●財政運営のあり方に関する特別委員会

- ①定数：12 ②設置年月日：平成23年5月23日
- ③設置目的：大都市にふさわしい財政運営の健全化と財政基盤の強化を図るための諸問題の調査を行うこと。

- ④活動の内容
「大都市としてふさわしい安定した財政制度の確立」や「財政健全化に向けた歳入の確保や事務の効率化」をテーマに活動を行っています。
地方分権改革や公会計の活用、財政の中期見直し並びに人口減少社会についての状況を把握する中で、執行部と委員双方が各局を単位に先進的な財政運営の手法について調査を行っているところです。これまでに都市整備局による「効率的かつ適正な業務改革」や、環境局では「新西部環境工場の整備・運営手法」等について事例報告があり、積極的な議論を展開しました。
今後も、財政運営の手法について局毎に調査を進め、本市における健全な財政運営のあり方について議論を深めてまいります。

●議会活性化特別委員会

- ①定数：10 ②設置年月日：平成23年6月16日
- ③設置目的：議会活性化のための諸改革に関する調査を行うこと
- ④活動の内容
地方分権の推進や指定都市移行に伴う議会機能の充実強化や活性化、さらに市民の皆様により身近で開かれた議会の実現を図るため議論を行っています。
これまでに、議員の資産公開に関する条例や政治倫理条例について議論を行い、それぞれ制定や見直しなどを行ってきました。
今後も引き続き、本市議会の運営、議員定数や議員報酬全般について、学識者等の専門的知見を活用し、議論を行い、議会改革をさらに進めていきます。

●市民病院のあり方に関する特別委員会

- ①定数：6 ②設置年月日：平成24年3月7日
- ③設置目的：市民病院の建て替えに伴う諸問題に関する調査を行うこと。
- ④活動の内容
老朽化により耐震上問題のある市民病院南館の建て替え検討に併せて同病院の公立病院としてのあり方や担うべき役割等について、今年度市長部局が予定している建て替え基本計画策定に向けて、委員会としてのとりまとめを行うことを目的としています。
これまでに、市民病院の現状分析や熊本市域における今後10年の医療の姿を示すくまもと医療都市2012グランドデザインのヒアリングなど当病院や本市医療の現状調査を2回に渡り行い、その後、委員会の調査項目を「市民病院が今後担うべき役割について」「経営健全化について」「適正な病院規模について」「建て替えについて」と定め、各項目について集中的に活発な議論を行っています。

エクサンプロヴァンス市 ・ハイデルベルク市 からの招致に伴う議員派遣の報告

エクサンプロヴァンス市（フランス）との交流都市協定に向けての「意向書」の調印とハイデルベルク市（ドイツ）との友好都市締結20周年記念式典への参加

■ジョワサン市長と幸山市長による交流都市協定に向けての「意向書」調印
9月26日市庁舎のホールでエクサンプロヴァンス市長が熱のこもった歓迎の挨拶をされ、その後、熊本市長が挨拶を行い、両市交流の意義を強調されました。その後、双方の市長が、今後の交流を推進することを約した意向書をそれぞれの母国語で読み上げ、署名、握手の後、議長はじめ議員もそろって自己紹介の後記念撮影を行いました。

■エクサンプロヴァンス市におけるその他の交流事業

エクサンプロヴァンス市観光情報センター視察
観光情報センターでは、エントランスホールでヴィクトル・トナン助役が出迎られました。またアトリエセザンヌのディレクターも同席され、エクサンプロヴァンス市の概要やセザンヌについて説明がなされ、熊本側からはセザンヌ展招致の可能性などについて質問を行いました。

市役所ホールにてレセプション

まずジョワサン市長が、心のこもった歓迎のスピーチをされ、つづいて幸山市長、津田議長が、本協定締結の際、是非ともジョワサン市長にご来熊いただきたい旨を申し入れました。また、津田議長が議員を一人ずつ紹介され、その後の歓談などを通して、両市長はじめ、両市市議会の親交を深めました。

シャトーラコストにて昼食会（エクサンプロヴァンス市・姉妹都市協会との昼食会）

日本の有名な建築家、安藤忠雄氏が設計した建物を有するワイナリー

「シャトー・ラコスト」を見学。ワイナリー内で、エクサンプロヴァンス市並びに姉妹都市協会会長、地中海メゾンドジャボン（民間の交流団体）会長も同席され、会についての説明などがあり、民間友好団体との交流も深めました。

■友好都市締結20周年記念晩餐会（9月28日には、ハイデルベルク市に移動）

まず、食事前のアトラクションとして、スポーツ少年団による体操の演技が披露されました。

祝賀会には、ハイデルベルク市長のほか、副市長、議員、ハイデルベルクスポーツ協会、ハイデルベルク熊本友の会といった民間交流団体など、ハイデルベルク側だけで総勢60名程度の参加。また、熊本日独協会の訪問団も同席しました。

会では、ヴェルツナー市長の挨拶の後、市長・議長によるスピーチ。その後、ヴェルツナー市長から、20周年を記念して、現在再開発中のハイデルベルク駅周辺地区内に、

「熊本通り」と名付けた通りを設けること、さらには市内を走る路面電車に「熊本号」と命名することがサプライズとして発表されました。

通りの名称が刻印されたプレートや市電の写真が贈呈されるなど、4時間を越える交流会となり、友好を深めました。



エクサンプロヴァンス市長との「意向書」調印の様子